## 労働安全衛生、保安防災

安全操業、労働災害撲滅を最優先課題として、自主的な安全衛生活動を推進し、 安全で働きやすい職場環境づくりを進めています。

## 労働安全衛生への取り組み

当社では、「安全操業・労働災害撲滅」を最優先課題と して、安全衛生管理体制を整備し、危険予知 (KY)活動、 5S活動など様々な安全衛生活動を推進しています。また、 労働安全衛生のマネジメントシステムである国際規格 ISO45001を全工場で認証取得しています。

## 教育・訓練の充実

安全に対する基本的な考え方、化学物質の安全な取り 扱いなど業務に必要な安全衛生知識について、教育を実 施するとともに、業務上必要な資格の取得推進を図って います。また、万一の火災、化学物質の漏えいおよび自 然災害などに備え、防災訓練・教育を実施し、緊急事態 に備えています。さらにこれまでの安全衛生教育に加え、 実際の危険を疑似体験する「危険体感教育」を実施し、危 険感受性の向上を図っています。



防災訓練(北海道工場)



防災訓練(新潟工場)



防災訓練(岡山工場)



危険体感教育(岡山工場)



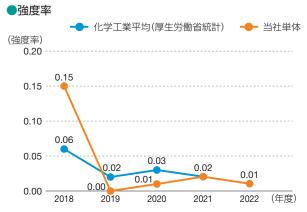
空気呼吸器装着訓練(岡山工場)

## 労働災害の発生状況

2022年度は、休業災害が2件発生しました。発生した 災害については、設備対策、作業方法の見直しなど対策 を講じ再発防止に努めています。実施した再発防止対策 については、RC内部監査において運用状況、実効性を確 認しています。また、事故・災害情報については、当社 グループ内で共有し、類似事故・災害の防止を図ってい ます。



度数率:災害発生の頻度を示す指標 (労働災害による死傷者数)÷(延べ実労働時間数)×100万



強度率: 災害の重さの程度を示す指標 (延べ労働損失日数)÷(延べ実労働時間数)×1.000

※2022年度の化学工業平均については、編集時点で公表されていないた め、掲載していません。